

第5次長期総合計画基本構想骨子(案)

『まちづくりの基本理念』

◇基本理念1「地域の“力”を活かしたまち」

人・産業・地域活動・文化・伝統などの様々な地域の魅力や資源を活用する

◇基本理念2「多様な主体による“協働”のまち」

全ての市民・企業・市民活動団体等や行政が目的を共有し、自助・共助・公助の理念のもとに一体となって取り組む

◇基本理念3「誰もが“いきいき”と暮らすまち」

市民それぞれが地域社会の中での役割を自認し、いきいきと活動する

『第5次長期総合計画主要課題(案)』

■人口減少社会への対応

人口減少社会の進行は、生産力の低下や地域コミュニティの衰退など、これからのまちづくりに対して大きな影響を及ぼす要因となります。特に、若年層の流出を防ぐなど、急激な人口減少を抑制するとともに、このような社会においても活力を維持できるまちづくりを早急に構築していく必要があります。

■住みやすいまちづくり

「住み続けられるまち」を創っていくことがこれからのまちづくりに求められています。子どもから高齢者までが安全に、安心して健康に暮らせるまちづくりを、近隣市町村と連携の中で進め、「塩竈で生まれ、育ち、暮らしていく」ことのできるまちづくりを進めていく必要があります。

■地域経済の活性化

基幹産業である水産業を始め、市内産業の状況は非常に厳しい状況にあり、また低成長時代を迎え産業は大きな転換期を迎えます。そのため、地域の資源や特性を活かした産業の活性化に取り組むとともに、それぞれの産業が観光を軸に連携を図り、一体となって地域経済を構築し、グローバルな視点で産業を育成していく必要があります。

■個性と魅力ある都市の形成

塩竈に住む市民が誇りに思え、いつまでも住み続けたいと思えるまちを形成するために、塩竈市のもつ歴史・文化・自然を生かし、個性的で魅力にあふれたまちづくりを進める必要があります。
このことにより、市民が住み続けたいまち、塩竈を訪れたいと思われるまちづくりを進めていく必要があります。

■地域力の強化

少子高齢化社会に対応し、支え合いのまちづくりを進めるためには、コミュニティを活性化するとともに、NPO・民間事業者・行政などの相互の連携強化を図り、協働により地域社会を構築するなど、地域力を高めていく必要があります。
また、これからのまちづくりは、次世代を担う人材の育成は大変重要であり、地域社会との交流を深めながら、塩竈に愛着と誇りを持ったひとづくりを進めていく必要があります。
これらの新たな時代に対応した行政力の強化を図るとともに、地域社会における役割を確立していく必要があります。

『まちづくりの基本方針』

基本方針1：子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちづくり

【施策展開の方向性】

- 市民・地域・事業者・行政の協働による地域医療福祉体制の構築
- 市立病院を核とした総合的な地域医療体制の構築
- 安心して生み育て、子ども達がのびのびと健やかに育つ環境形成
- 市民の健康づくりを支援する保健体制の充実
- 高齢者や障がい者が安心して暮らせる支援体制の構築
- 安全で安心して暮らせる社会基盤の充実

基本方針2：海とみなとを活かした活力あるまちづくり

【施策展開の方向性】

- 塩竈ブランドの確立や付加価値を高める水産業の振興
- 「海・みなと」を活かした地域産業の振興
- 観光を軸に連携を図る地域産業の一体的な振興
- 地域に根ざした商店街の振興

基本方針3：地域特性を活かした趣と風情あるまちづくり

【施策展開の方向性】

- 趣と風情をもった都市空間の形成
- 地球環境問題も視野にいた地域環境の形成
- 誰にとっても利便性の高い生活基盤の提供
- 市民との協働による良好な生活空間の創出

基本方針4：市民が愛着と誇りを持ってこれからの塩竈市を支えるひとづくり

【施策展開の方向性】

- 市民意識の醸成
- 地域活動の活性化や連携の支援
- 子ども達の基礎学力の向上
- 地域の担い手となる塩竈人の育成
- 新たな時代に対応した行財政基盤の再構築

将来像・(将来フレーム)

人口減少対策